

平成 23 年 1 月～12 月までの事業の実績

【提案公募型産業促進事業関連】

提案公募型産業促進事業とは東京都が都内に事務所を持つ中小企業の活性化と事業創出のため補助金事業を募集したもので、NPO法人 外断熱推進会議は新たに「東京都外断熱ネットワーク」を組織し外断熱に関連したセミナーでこの事業に参加を表明し申請書類を作成することになった。事業の期間は平成 22 年 7 月（補助金交付決定日）から平成 23 年 3 月 31 日までの 9 ヶ月である。審査会（H22 5/31）を経て助成金交付申請書を提出（H22 6/15）した。平成 22 年 7 月 6 日付で交付決定の連絡があった。その後、交流会 3 回、セミナー 3 回、外断熱通信特別号を発刊し平成 23 年 3 月でこの補助金事業は終了した。同封しました外断熱通信特別号は本事業のまとめを掲載してあります。どうかご一読下さい。

東京都外断熱ネットワーク主催
第3回「耐震＋外断熱事業推進交流会」
 快適に使って、
 未来に残す。
 参加費 無料
 2011/2/16(水) 13:00~

平成22年12月、国土交通省から建築物省エネ改修緊急支援事業が公募され、東京都では、耐震診断に関して義務化、太陽光エネルギー利用20億円の優遇策の方針が打ち出されました。「東京都外断熱ネットワーク」が開催したセミナー・交流会においても、参加された方の中で外断熱・耐震改修を検討される方が増えてきております。

今回の交流会では、昨年8月24日より実施してきましたセミナー・交流会の中で、好評だった講演を更に深く掘り下げてお話を頂きますと共に、減法に賛同できなかったことや疑問に思われていることなど、再度確認できる機会となれば、と考えております。

さらに民主党の中村哲治参議院議員に、「我が国の省エネ政策の現状と未来」と題した講演をお聞きし、「東京都外断熱ネットワーク」のテーマである外断熱・耐震について皆様と意見を交わし、交流を深め、更に「東京都外断熱ネットワーク」が、今後も引き続き活動が続けられるような交流会にして参ります。是非ともご参加頂き、皆様方のお力で盛り上げて頂きますよう、お願い申し上げます。

8月24日 第1回「耐震＋外断熱事業推進交流会」
 9月12日 ホームラン南大沢見学会 外断熱改修セミナー
 10月20日 外断熱改修セミナー
 11月17日 第2回「耐震＋外断熱事業推進交流会」

ネットワーク入会のお申し込み・お問い合わせ先
 東京都外断熱ネットワーク事務局
 (運営主体：NPO法人外断熱推進会議)
 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 緑城会館4階427号(メロイロ団体内)
 TEL: 03-3439-4155 FAX: 03-3439-0678
 Mail: info@outdoor-npo.org URL: www.outdoor-npo.org

平成22年度東京都「提案公募型産業交流促進事業」補助金交付事業
 「建物の耐震化＋断熱化による安心、省CO2と産業創出！」
第3回「耐震＋外断熱事業推進交流会」

東京都外断熱ネットワーク(運営主体：NPO法人外断熱推進会議)では、このたび東京都が公募した「提案公募型産業交流促進事業」の補助金交付を受け、「耐震」と「外断熱」をキーワードに、特に東京都内の建物において安心・快適・省エネな生活環境を実現するための、耐震・外断熱化の普及・啓蒙活動に取り組むことになりました。私たち「東京都外断熱ネットワーク」は、安心・快適・省エネな東京の街づくりを進め、新しい産業を創出します！

【プログラム】
 ※開催日が変更になる可能性がありますので、本開催日(東京)のみ
 ■13:30～ 東京都「提案公募型産業交流促進事業」の現状と今後について
 NPO法人外断熱推進会議理事 渡内正純
 ■14:00～ 「外断熱改修の現状と今後について」
 ホームラン南大沢 秋元孝夫 様
 ■14:30～ 「ホテルの外断熱の現状と今後について」
 (株)東武建設コンサルタント 安浦 剛 様
 ■15:00～ 休憩
 ■15:10～ 「我が国の省エネ政策の現状と未来」
 参議院議員 中村哲治 様
 ■16:00～ グループミーティング
 「中村参議院議員を囲んで、耐震＋外断熱の現状を語る」
 司会：堀内正純
 ■17:10～ 交流会(懇親会) 会費4,000円

2/16 参加申込書 ⇒⇒⇒ FAX 03-3436-0678 (NPO法人外断熱推進会議宛)

会社名 団体名	TEL FAX		
担当者	電話番号	参加	不参加
ご住所	Mail		

■1月26日(水) 建物の安全とは(耐震セミナー)

今後30年以内に南関東で大地震が発生する確率は70%、約4分の1の建物が震災時に倒壊の恐れがある。阪神・淡路大震災の全半壊数は249,180棟、同規模の地震が関東で発生すると全半壊数は474,000棟もの被害想定になります。阪神・淡路大震災による死者・行方不明者は6,437人にもなるが、そのうち約5,000人は住宅被害を直接的な原因とする死者です。阪神・淡路大地震の被害総額は約10兆円規模といわれており、自治体の財政も人々の暮らしも長く苦しめてきました。東京都では平成22年12月14日に、震災時の救急活動や救援物資の輸送に使う「緊急輸送道路」沿いにあるビル・マンションの所有者に平成23年から耐震診断を義務付ける条例を平成22年中に制定する方針を打ち出しました。条例施行に先立ち耐震診断も都と国が全額負担をし所有者の負担軽減し、耐震補強工事の促進を考えています。との東京都の話の後下記の3つの講演が行われました。

講演1「近年の地震災害から学ぶべき本当の教訓ー自分と自分の大切なものを地震で失わないためにー」東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長 工学博士 目黒公郎 様 講演2「建築物の耐震化緊急対策について」国土交通省住宅局建築指導課 松井康治様 講演3「耐震診断および耐震改修の実務」(株) コンステック 鈴木公平 様 50名の参加。アンケートも20人から回答があり大変勉強になったとの評価でした。



■2月16日(木) 第3回 耐震+外断熱事業推進交流会

東京都補助金事業の最後になる交流会が開催された。内容はNPO法人外断熱推進会議事務局長 堀内正純より「東京都提案公募型産業交流促進事業の現状と今後について」ホームタウン南大沢 秋元孝夫様より「外断熱改修の現状と今後について」(株) 東急設計コンサルタント 安達 朗様より「ホテルの外断熱の現状と今後について」参議院議員中村哲治様より「日本の住宅が抱える問題について」。以上の講師の方々に、それぞれ貴重なお話をお伺いしました。またご講演の後には、中村哲治参議院議員を囲んでの意見交換も開催されました。ご協力頂きましたアンケートにおきましても皆様より大変ご好評を頂戴致しました。参加者 約60名。

■4月8日(金) 東京都補助金事業 実績報告書提出

平成22年7月6日から開始した「提案公募型産業交流促進事業」は3月31日で終了した。本事業の実績を都の指定した様式で提出した。4月中旬に都の完了検査が実施され5月下旬に補助金が交付されることになる。なお、この事業は平成28年の4月までの5年間産業交流に繋がる事業について報告の義務がある。

■4月18日(金) 東京都補助金事業 実績監査

都より中村、秋山、佐藤の3氏が来所し出納帳や事業の実績を詳細に監査された。事務所のコピー機による印刷や消費税など指摘を受けた結果補助金が2,462,000円と決定された。

提案公募型産業促進事業ではこの事業期間中講演された内容を最終的に「耐震+外断熱テキスト」の形でまとめました。改修事例や耐震化など豊富な内容となっております。ぜひお求め下さい。

定価1,050円(消費税込) 送料80円 計1,130円/冊 です。

注文先： 電話 03-3436-4755 F A X 03-3436-0678 Email info@sotodan-npo.org

【提案公募型産業促進事業以外の実績】

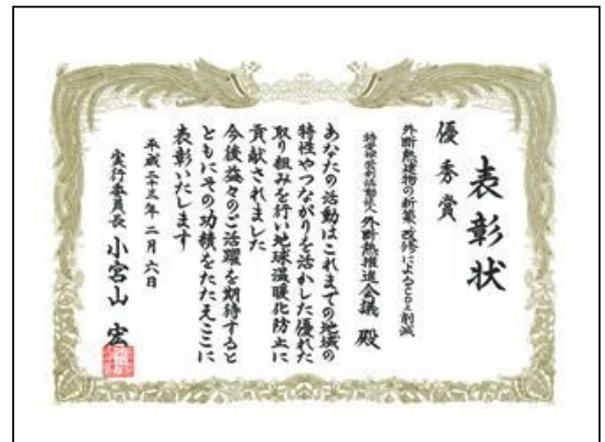
■1月13日(木) 理事懇談会

堀内より北海道支部の活動報告があった。北海道支部では、札幌大家の会と連携を深めており、経営者本人が外断熱改修の現場を見に来るといことが起きている。平成22年11月20日には山岡淳一郎氏を招いてセミナーを開催したが、非常に大きな反響があった。実は北海道は外断熱物件が少ない。今回のセミナーでは民間で関心のある人たちにおおいにアピールすることができた。

■2月5日(土) 低炭素杯2011開催

環境省地球環境局地球温暖化対策室では低炭素地域づくり全国フォーラムのエントリー募集をした。次世代に向けた低炭素な社会を構築するためNPOや企業などが展開している地球温暖化防止に関する活動を報告し、連携の輪を広げる場を提供する全国フォーラムが平成23年2月に開催される。当NPOとしては「外断熱建物の新築、改築によるCO2削減」の取り組み名でエントリーすることとした。今までの活動や東京都の提案公募型産業促進事業を絡めて提案した。(平成22年12月3日提出) 審査の結果

全国フォーラムへの参加が決定し東大安田講堂で 2/5、6 に発表した。47 の団体が参加し、わがNPO は優秀賞を受賞した。



■2月17日(木) 平成23年度事業計画打ち合わせ

理事長、副理事長の参加を得て平成23年度の事業計画について打ち合わせを行った。

市民事業：情報掲載を公開し、広告掲載として収益構造を考えている。技術支援事業：6月に国際外断熱セミナーを開催予定。認証事業：2月16日にアドバイザー講習会を開催した。このアドバイザーのスキルアップ講座を開催してはどうかという意見がでている。調査研究事業：ブルーノアウトが亡くなったイスタンブールに行く企画を予定している。情報事業：外断熱パンフレットを作成していきたい。環境開発事業：今回の東京都の助成金事業はNPOにとっては大変負担も大きいものだったが、社会的意義、収穫は大いにあったと感じている。

■4月15日(金) 理事懇談会

ソトエコサイトで全国の外断熱物件の情報を紹介する仕事を始めることが紹介された。また、定例の議題以外に東日本大震災への支援についての提案や提言が田中先生や山下先生からありこの主旨が説明された。

■4月27日(水) 第2回外断熱建物調査報告完成

8社からDATAを戴き、457件の外断熱建物の詳細をまとめ第2報として協力会社に報告書を郵送した。

■5月20日(金) 外断熱改修セミナー

社団法人 北海道建築技術協会主催、特定非営利活動法人 外断熱推進会議共催による RC造：外断熱改修技術セミナー『マンションの外断熱改修設計・技術とその効果』が建築会館ホールにおいて開催された。2004年に札幌市内のマンションの外断熱改修を契機として、既存建物を外断熱改修することにより、室内の温熱環境を改善するだけではなく社会資産としての価値を高め、同時に長期の修繕費用の低減を図ろうというニーズが高まってきました。しかし、外断熱改修を企画・設計する方々にとってはその進め方が手探り状態のため、指針・参考となるものが欲しいという声が聞かれるようになり、これに応えるべく昨年「外断熱改修の手引きーマンション長期修繕計画の新提案ー」と「RC造外断熱改修工法ハンドブック」(A4判、100頁)を発行した。(社)北海道建築技術協会 専務理事 長谷川 寿夫 マンションの外断熱改修の進め方と資金計画 (株)アイテック 代表取締役 佐藤潤平 氏外断熱改修の設計と技術 (有)大橋建築設計室 代表取締役 大橋周二 氏屋根の外断熱改修の実際 田島ルーフィング (株) 酒井和夫 氏ホームタウン南大沢の外断熱改修事例 (有)秋元建築研究所 代表取締役 秋元孝夫 氏各種改修工法と改修による効果 (社)北海道建築技術協会 専務理事 長谷川寿夫 氏 閉会挨拶 特定非営利活動法人 外断熱推進会議 副理事長 田中辰明 先生 参加者 約90名



■5月27日（金）理事会・総会

理事については東海、東北支部の問題もあり理事の数も含めて7月の理事懇談会に臨時総会を開催し検討することになった。他の項目は原案通り承認された。また、東日本大震災支援について会員から提出された提言について検討された。15:00からは総会ではほぼ理事会通りの内容であった。

■6月9日（木）ISO/TC163国際規格シンポジウム開催

TC163/SC3（建築環境の熱的性能とエネルギー使用）の報告として「外断熱の最新事情」として田村が報告した。

■6月25日（土）第1回まちせんセミナー開催たま・まちせん企画 私たちの終の住処を考える

提案公募型産業促進事業関連のH22 9/12のセミナーで「たま・まちせん」（NPO多摩ニュータウン・まちづくり専門会議）が断熱改修に興味を示し今後一年間勉強会を開催することになり第1回が永山ハウスで開催され堀内事務局長が「住まいの省エネを考える」と題して講演を行った。参加者約20名。外断熱に関する関心や温熱環境について理解が深まることを期待している。

【多摩市永山公民館 市民企画講座】

「私たちの終の住処を考える」

～大震災を契機に暮らし方を見直そう～

大震災を契機に今までのエネルギーに依存した暮らし方が問われています。多摩市・たまの広域圏をはじめ集合住宅が多いまちです。その特徴を活かし、人も建物も長持ちする省エネで健康な暮らし方をらぶの講座を通じて学びます。
第1回は下記の通りを行います。ご興味、ご関心のある方、ぜひお越しください。

◆日時：6/25(土)午後3時～5時
◆会場：永山ハウス(1階)集会室(諏訪1-65-1)
◆内容：第1回目講座「住まいの省エネを考える」
～エネルギーの使われ方、エコな住まい方（ハードとソフト）などを紹介～
エネルギーの全体像と住まいでの使われ方について把握し、住まいの省エネ対策（ハード）やエコな住まい方（ソフト）など、エコライフを実践するノウハウを学ぶ。
◆講師：堀内 正純氏（NPO法人 外断熱推進会議事務局長・理事）他

◆対象・定員 どなたでも 各回定員30名まで申し込み要
◆費用 無料代として300円程度
◆主催 NPO多摩ニュータウン・まちづくり専門会議
協力 NPO法人外断熱推進会議
◆申込み・問合せ
各講座開催日の前日までにNPOたま・まちせん事務局へ
電話：042-33715609
Eメール：info@machisen.net
FAX：事務局の申込書でお送り下さい。

(会場アクセス)
・1回所 永山ハウス：京王線・小田急線永山駅から徒歩5分
・2～5回所 ヘルプ永山：京王線・小田急線永山駅から徒歩3分

◆NPO 多摩ニュータウン・まちづくり専門会議（たま・まちせん）は、多摩ニュータウン地区に
断熱改修や省エネの専門家集団として、まちづくりの推進に力をおこすことを目的とし、断熱
改修プロフェッショナル養成、建築・材料にまつくろを推進する活動を行っています。
URL: <http://www.machisen.net>

◆NPO 法人外断熱推進会議は、断熱による健康で暮らし・美しいまちづくりを推進し、持続
可能な社会の実現を目指して、マンション・住宅・ビル・病院等のコンクリート建築における外断熱
の普及に貢献する活動を行っています。
URL: <http://www.outdoor-insulation.org/>



■6月15日（水）第25回関西セミナー・関西支部総会

「原発に頼らない真の省エネ建築の作り方」と題して講師：(有)松尾設計室 代表取締役松尾 和也氏が講演された。約70名参加。また、関西支部の総会が開催され今年度の事業方針が確認された。

■7月9日（土）まちせん セミナー開催

「大震災から見直す私たちの暮らしと住まい」と題して「エネルギー自給自足建築の素朴な質問：」（オスカーバルテンシュタイン氏）「エネルギー自給自足建築の挑戦」（オスカーバルテンシュタイン氏）の講演後意見交換が行われた。このセミナーは平成22年度東京都「提案公募型産業交流促進事業」補助金交付事業の実施段階で生まれたセミナーで平成24年2月まで継続した勉強会が計画されている。参加者25名。

■7月15日（金）理事懇談会・臨時総会

特に平成23年度の事業「物件紹介」「アドバイザー試験」「外断熱リーフ」について意見交換がされ、収益になるよう実行するとの確認された。また、臨時総会では理事を15人から17人に増員することが承認された。15:30から田中先生からトルコの視察報告がなされた。10月にNPO主催でドイツ・トルコ視察ツアーが企画されている。

■7月23日（土）北海道外断熱セミナー

NPO法人 外断熱推進会議北海道支部主催で「北海道外断熱セミナー」が開催された。東日本大震災発生直後の福島原発の停止と放射能の放出、そして計画停電と、日本国内では、自然エネルギーの活用など、エネルギー問題が大きなテーマとなっている。原子力に頼らなくても、快適な暮らしCO2排出削減を実現する方策として、木造では高断熱・高密、RC造では外断熱によって、熱損失を抑えた住宅、建物づくりは可能です。今回のセミナーでは、マンションや戸建て住宅にお住まいの皆様、「省エネ型マンションとは」、「今求められるエコな住宅は」をテーマに講演会が開催された。開会挨拶 田中辰明 お茶の水女子大学名誉教授 NPO法人 外断熱推進会議副理事長）講演1 「省エネ型マンションとランニングコスト～居住者の高齢化と費用負担」堀内正純 (有)イーアイ代表取締役(NPO法人 外断熱推進会議全国事務局長) 講演2 「今求められるエコな家とは」～パッシブハウスプロジェクトの紹介 藤本哲哉 建築家・(株)北海道地域計画・建築研究所所長(NPO法人 外断熱推進会議北海道支部長) 参加者 約40名。

■7月30日（土）被災地視察

30日から堀内事務局長、松井理事、秋田の佐貫様、と岩手・宮城を視察した。30日 気仙沼市、南三陸町 31日 大船渡市、陸前高田市 8月1日・2日 仙台市 を訪問した。目的は、被災地の実情調査、仮設住宅の現状調査と東北支部設立に向けた打ち合わせです。1日は(株)植木組東北支店に、(株)植木組、(株)北洲、ダウ化工(株)、佐貫正会員(東北支部設立準備委員)が集まり、東北支部設立に向けた打ち合わせを行いました。仙台では、震災後の外断熱マンションの現状と住人に聞き取りを行いました。また、(株)植木組、(株)北洲、ダウ化工(株)、(株)テスクなど各社の外断熱建物を調査してきました。



■10月22日（土）第4回 「住まいを長持ちさせるには」市民講座

NPO多摩ニュータウン・まちづくり専門会議の主催で市民講座が開催された。「住まいを長持ちさせるには」松井一郎氏 「住まいへの我慢からの解放、外断熱が引き受けます！」石川雅規氏の2件の講演のあと質疑応答があった。参加者約15名 このセミナーは東京都の補助金事業「提案公募型産業交流促進事業」の中で生まれた勉強会である。この講座は平成24年2月まで継続される。

■10月28日（金）理事懇談会

本年度計画された3つの収益事業について進捗報告がなされ物件情報とリーフについては早く収益に寄与させること。の指摘があった。関口委員より米国での新たな断熱義務化について報告があり詳細の情報をいただくことになった。（詳細記事は建築仕上技術 2011.12 に掲載）また、田中先生よりトルコ・ドイツの視察についてスライドにより説明があった。

■11月12日（土）第2回 北海道外断熱セミナー

「外断熱マンションに暮らそう」～トルコ・ドイツの外断熱視察と国内・札幌での外断熱事例の紹介～と題して講演会が札幌市の後援で開催された。田中先生から「トルコ・ドイツの外断熱視察紹介」大場里樹氏（札幌市都市局建築部建築企画課長）から「札幌市に於ける建築物の省エネ推進の取り組み」～札幌版次世代住宅基準への取り組みについて～ 大橋周二氏から（NPO法人外断熱推進会議北海道支部事務局長）より「外断熱改修の効果と今年の改修事例紹介」の講演があった。参加者 約70名。



■11月30日（水）第26回 関西セミナー

「団地丸ごと外断熱・快適ホームタウン南大沢」秋元孝夫氏「2011年—最新の欧州外断熱・パッシブハウス事情報告」堀内正純氏の二つの講演が開催された。主催がNPO法人外断熱推進会議関西支部共催が環境省地球温暖化対策地域協議会 KANSAI えこねっと「省の会」有料のセミナー。参加者約40名。

